



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 3143 URL https://owill.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	41,909	7.0	1,368	17.7	1,254	8.9	793	△13.2
2025年3月期	39,156	23.2	1,162	21.3	1,151	26.6	915	34.3

(注) 包括利益 2026年3月期 931百万円 (8.0%) 2025年3月期 862百万円 (18.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	88.13	—	14.4	6.8	3.3
2025年3月期	101.91	—	19.2	7.7	3.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	20,477	6,126	28.9	656.51
2025年3月期	16,231	5,266	31.6	570.24

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,921百万円 2025年3月期 5,123百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△1,137	△671	1,339	2,542
2025年3月期	△829	1,020	825	2,858

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	179	19.6	3.8
2026年3月期	—	6.00	—	20.00	—	198	25.0	3.6
2027年3月期(予想)	—	2.00	—	20.00	22.00	—	28.4	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり期末配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の1株当たり期末配当金は60円、1株当たり年間配当金は66円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,600	1.6	1,175	△14.2	1,083	△13.6	700	△11.8	77.60

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社（社名）NIITAKAYA U. S. A. INC.、株式会社アクセルテック、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	9,450,000株	2025年3月期	9,450,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	429,987株	2025年3月期	465,987株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	9,008,937株	2025年3月期	8,979,399株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	34,151	1.0	947	△4.8	960	△2.1	638	△19.9
2025年3月期	33,780	11.5	995	14.5	981	21.4	796	24.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	70.88	—
2025年3月期	88.73	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	16,755	5,207	31.1	577.28
2025年3月期	13,028	4,714	36.2	524.73

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,207百万円 2025年3月期 4,714百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(株式分割の配当について)

当社は2025年6月9日開催の取締役会において、株式分割について決議し、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、株式分割考慮前に換算した2026年3月期の配当予想は以下のとおりとなります。

2026年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 6円（注1） 期末 60円（注2）

2026年3月期の1株当たり年間配当金(株式分割考慮前)は66円となります。

(注1) 第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式分割考慮前に換算した配当額であります。

(その他)

決算補足説明資料については、後日当社ホームページ上に掲載しますのでそちらをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(企業結合等関係)	17
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	20
5. 個別財務諸表及び主な注記	21
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	23
(3) 株主資本等変動計算書	24

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の持続的な改善や国内企業の設備投資の持ち直し等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日本国内の金利上昇や米国の通商政策の影響による景気下振れリスク、物価上昇の継続等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界では、原材料価格の高騰や人件費上昇等を受けた製品値上げの影響により、消費者の節約志向が強まっており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針に掲げ、安心・安全な商品提供を最優先に、品質管理体制の強化を図り、お客様ニーズに即した安定供給の継続とサービス向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力商材である食品副原料、農産物加工品、乳および乳製品、環境関連商材の販売が好調に推移したことに加え、製造販売事業においても、魚卵製品および漬物製品の加工販売が好調に推移いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は41,909,213千円（前期比7.0%増）となりました。利益面においては、人件費や物流経費等の販管費が増加したものの、売上高の増加に伴い売上総利益が大幅に増加したことから、営業利益は1,368,977千円（前期比17.7%増）となりました。国内金利上昇に伴う支払利息の増加および円安進行に伴う為替差損の計上により、経常利益は1,254,134千円（前期比8.9%増）となりました。なお、前期計上した関係会社株式売却益が当期はなかったことに加えて、訴訟和解金等を計上したことにより、税金等調整前当期純利益は1,166,472千円（前期比11.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は793,923千円（前期比13.2%減）となりました。

当連結会計年度からNIITAKAYA U. S. A. INC. 及び株式会社アクセルテックを連結の範囲に含めたことに伴い、総資産及び純資産は前期比で大幅に増加し、総資産は20,477,251千円（前期末比26.2%増）、純資産は6,126,627千円（前期末比16.3%増）となりました。なお、自己資本比率は28.9%であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

当連結会計年度の飲食料品市場では、エネルギーコストおよび原材料価格の高騰を受けたメーカー各社の製品値上げが浸透しつつありますが、一方で、消費者の節約志向の高まりを背景に出荷数量は前連結会計年度比で減少しており、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応するため、国内外から安全・安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努めてまいりました。また、既存取引先に対するサービス向上に加え、新規商材の開発・販促にも注力してまいりました。糖類・香料等の食品副原料、生クリーム・バター等の乳製品、果物の濃縮汁・茶葉等の農産加工品の販売はいずれも前年同期比で増加いたしました。さらに、健康志向の高まりを背景にアサイー需要が引き続き好調であったことから、食品原材料の売上高は前期比で大幅に増加いたしました。環境関連商材では、猛暑やエネルギーコスト上昇に伴う空調効率化需要の高まりに加え、展示会への積極的な出展による認知度向上が奏功し、主に物流施設向け大型シーリングファンの出荷が大きく伸びました。また、株式会社アクセルテックの事業が当セグメントの業績に寄与したことから、卸売事業の売上高は35,367,987千円（前期比1.7%増）となりました。

<製造販売事業>

製造販売事業では、日本国内において株式会社海鮮が鮮凍魚介類および魚卵類の加工販売を行っており、米国国内において、NIITAKAYA U. S. A. INC. が漬物ガリ生姜の製造販売を行っております。

外食産業の堅調な市場動向を受け、魚卵製品および寿司ネタ商材の販売は前年同期比で増加いたしました。また、NIITAKAYA U. S. A. INC. の事業が当セグメントの業績に寄与したことから、当連結会計年度の製造販売事業の売上高は6,603,170千円（前期比22.7%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,581,421千円増加し、18,486,670千円となりました。主な要因は、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。一方、固定資産は、664,267千円増加し、1,990,580千円となりました。主な要因は、子会社の取得に伴うのれんや顧客関連資産の増加によるものであります。この結果、当連結会計年度末における資産は20,477,251千円(前期末比26.2%増)となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,171,508千円増加し、11,194,827千円となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであります。また、固定負債は、213,728千円増加し3,155,796千円となりました。主な要因は、長期借入金及び繰延税金負債の増加によるものであります。この結果、当連結会計年度末における負債は14,350,623千円(前期末比30.9%増)となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、6,126,627千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,542,393千円(前期末比11.1%減)となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,137,322千円(前期は829,431千円の支出)となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産が大幅に増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、671,168千円となりました。これは主に子会社株式の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,339,178千円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の借入による収入、長期借入金の返済による支出によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第36期 2022年3月期	第37期 2023年3月期	第38期 2024年3月期	第39期 2025年3月期	第40期 2026年3月期
自己資本比率(%)	35.0	35.4	32.3	31.6	28.9
時価ベースの自己資本比率(%)	33.5	30.4	34.0	35.0	32.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	1,432.2	1,204.2	808.5	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	18.4	19.2	23.1	—	—

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第39期及び第40期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについて

ては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、持続的な賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の更なる高まり等により国内消費活動の改善が期待されますが、米国の政策方針の転換や地政学リスクの高まり、長引く円安の影響に伴う原材料及び資源価格の高騰といった悪材料も想定される状況にあります。景気の先行きは依然として不透明感が強く、本格的な回復にはまだ時間を要するものと考えられます。また、少子高齢化による国内市場の縮小が経済全体に与える影響も大きく、企業は収益構造の転換を迫られており、今後の重要な課題となっております。

当社が主に事業を行う食品飲料業界においては、食品原料流通の国際化が加速していることに加え、新興国の食糧需要増加や気候変動による農産物の需給バランスの変化など、食品原料の調達は激しさを増していくと思われまます。また、環境関連業界においては、脱炭素や資源循環に関する社会的要請の高まりを背景に拡大が見込まれる一方、各国の環境政策や規制動向の変更、補助金制度の見直し、排出量取引制度の導入方法等によって、市場環境が大きく左右される可能性があります。

このような状況のもと、当社グループは、国内及び海外市場の動向や消費者の多様なニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に、顧客サービスの充実に努め、引き続き既存事業の深耕に注力してまいります。2027年3月期におきましては、これまでに引き続き4つのグループ戦略である既存収益基盤事業、成長ドライバー事業、新規事業、関係会社事業の具現化を図るとともに、積極的な人材投資やIT・DX戦略の推進等を踏まえて年度予算を策定しております。2027年3月期通期の業績見通しにつきましては、売上高42,600,000千円(当期比1.6%増)、営業利益1,175,000千円(当期比14.2%減)、経常利益1,083,000千円(当期比13.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益700,000千円(当期比11.8%減)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、1株当たり中間配当金を6円(株式分割前)としており、期末配当金を20円とさせて頂く予定です。なお、次期の配当につきましても、上記の方針を踏まえ、1株につき22円の年間配当金(中間配当金2円、期末配当金20円)とする予定であります。

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、当連結会計年度の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の当連結会計年度の期末配当金は60円、年間配当金は66円となります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社(当社)及び子会社である株式会社海鮮、NIITAKAYA U.S.A. INC.、J.S.O'will, Inc.、株式会社アクセルテックにて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

① 卸売事業

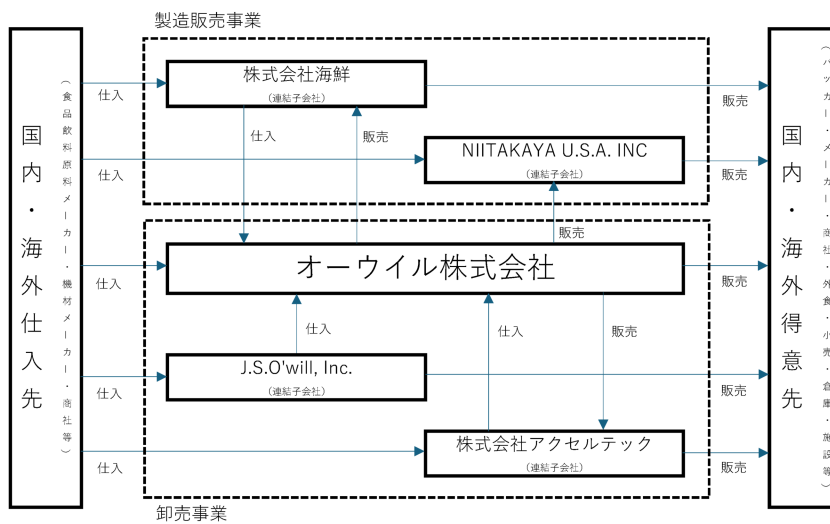
食品、飲料の製造や保存・加工などに使用されるビタミン類、食品添加物、殺菌乳、野菜果実加工品等の原料や、窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、大手量販店及びコンビニエンスストア向けPB(プライベートブランド)飲料製品の販売等を行っております。また、環境関連ビジネスである排水浄化プラントや大型シーリングファンの販売・設置を行っております。加えて、J.S.O'will, Inc.においては、業務用ヒーターを扱っております。

② 製造販売事業

子会社の株式会社海鮮にて、魚卵の輸入・加工販売並びに鮮凍魚介類の販売を行っております。また、NIITAKAYA U.S.A. INC.において、漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売を行っております。

[事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,858,922	2,542,393
受取手形	154,584	89,342
売掛金	6,190,604	7,288,436
商品及び製品	3,589,364	6,549,232
未着商品	1,047,251	836,571
原材料及び貯蔵品	564,753	574,206
前渡金	227,285	187,960
未収入金	149,829	225,542
関係会社短期貸付金	30,000	—
その他	121,115	234,469
貸倒引当金	△28,462	△41,485
流動資産合計	14,905,249	18,486,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,364	361,678
減価償却累計額	△70,315	△240,534
建物及び構築物(純額)	8,048	121,144
機械及び装置	41,541	381,244
減価償却累計額	△27,628	△310,438
機械及び装置(純額)	13,913	70,805
車両運搬具	40,755	82,437
減価償却累計額	△19,953	△64,804
車両運搬具(純額)	20,801	17,633
工具、器具及び備品	122,099	153,796
減価償却累計額	△72,937	△102,873
工具、器具及び備品(純額)	49,161	50,923
土地	—	58,308
リース資産	49,140	50,209
減価償却累計額	△15,724	△30,024
リース資産(純額)	33,416	20,184
有形固定資産合計	125,341	338,999
無形固定資産		
ソフトウェア	43,548	31,521
のれん	33,965	191,393
顧客関連資産	—	520,495
その他	1,594	1,594
無形固定資産合計	79,108	745,005
投資その他の資産		
投資有価証券	429,126	308,900
関係会社長期貸付金	30,000	—
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	341,088	166,302
繰延税金資産	122,541	260,131
その他	36,805	8,940
投資その他の資産合計	1,121,862	906,575
固定資産合計	1,326,312	1,990,580
資産合計	16,231,562	20,477,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,200,865	6,471,394
1年内償還予定の社債	80,000	70,000
短期借入金	620,000	2,279,422
1年内返済予定の長期借入金	1,252,467	1,413,141
リース債務	13,420	7,838
未払金	224,312	259,785
未払法人税等	385,606	259,710
前受金	682	1,996
賞与引当金	59,892	73,007
役員退職慰労引当金	—	207,000
その他	186,072	151,531
流動負債合計	8,023,318	11,194,827
固定負債		
社債	130,000	60,000
長期借入金	2,643,291	2,770,815
リース債務	20,433	12,736
繰延税金負債	—	161,099
資産除去債務	3,047	3,047
退職給付に係る負債	25,297	28,098
その他	120,000	120,000
固定負債合計	2,942,068	3,155,796
負債合計	10,965,386	14,350,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	294,534	300,051
利益剰余金	4,444,121	5,106,463
自己株式	△196,991	△181,772
株主資本合計	4,905,052	5,588,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,154	100,004
繰延ヘッジ損益	△10,104	21,360
為替換算調整勘定	127,956	212,265
その他の包括利益累計額合計	218,006	333,630
非支配株主持分	143,116	204,866
純資産合計	5,266,175	6,126,627
負債純資産合計	16,231,562	20,477,251

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	39,156,014	41,909,213
売上原価	35,096,143	37,108,227
売上総利益	4,059,870	4,800,985
販売費及び一般管理費	2,896,926	3,432,007
営業利益	1,162,943	1,368,977
営業外収益		
受取利息	4,186	4,254
受取配当金	6,092	6,204
受取補償金	20,230	2,951
その他	7,390	2,146
営業外収益合計	37,900	15,556
営業外費用		
支払利息	44,858	72,657
為替差損	3,026	48,833
支払補償費	951	8,102
その他	230	806
営業外費用合計	49,067	130,399
経常利益	1,151,776	1,254,134
特別利益		
固定資産売却益	919	—
関係会社株式売却益	171,525	—
受取保険金	—	179,788
特別利益合計	172,444	179,788
特別損失		
固定資産売却損	—	450
役員退職慰労引当金繰入額	—	207,000
訴訟和解金	—	60,000
特別損失合計	—	267,450
税金等調整前当期純利益	1,324,221	1,166,472
法人税、住民税及び事業税	527,765	521,833
法人税等調整額	△119,916	△157,825
法人税等合計	407,849	364,007
当期純利益	916,372	802,464
非支配株主に帰属する当期純利益	1,268	8,541
親会社株主に帰属する当期純利益	915,103	793,923

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	916,372	802,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,068	△150
繰延ヘッジ損益	△14,351	31,465
為替換算調整勘定	△8,469	97,327
その他の包括利益合計	△53,889	128,642
包括利益	862,482	931,107
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	863,127	910,359
非支配株主に係る包括利益	△645	20,747

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	3,678,501	△203,332	4,131,032
当期変動額					
剰余金の配当			△149,483		△149,483
親会社株主に帰属する当期純利益			915,103		915,103
自己株式の処分		2,058		6,341	8,400
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2,058	765,620	6,341	774,020
当期末残高	363,387	294,534	4,444,121	△196,991	4,905,052

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	131,223	4,247	134,512	269,982	143,761	4,544,776
当期変動額						
剰余金の配当						△149,483
親会社株主に帰属する当期純利益						915,103
自己株式の処分						8,400
連結範囲の変動						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,068	△14,351	△6,555	△51,975	△645	△52,620
当期変動額合計	△31,068	△14,351	△6,555	△51,975	△645	721,399
当期末残高	100,154	△10,104	127,956	218,006	143,116	5,266,175

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	294,534	4,444,121	△196,991	4,905,052
当期変動額					
剰余金の配当			△197,720		△197,720
親会社株主に帰属する当期純利益			793,923		793,923
自己株式の処分		5,517		15,218	20,736
連結範囲の変動			66,139		66,139
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		5,517	662,342	15,218	683,078
当期末残高	363,387	300,051	5,106,463	△181,772	5,588,130

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	100,154	△10,104	127,956	218,006	143,116	5,266,175
当期変動額						
剰余金の配当						△197,720
親会社株主に帰属する当期純利益						793,923
自己株式の処分						20,736
連結範囲の変動						66,139
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△150	31,465	84,308	115,623	61,750	177,374
当期変動額合計	△150	31,465	84,308	115,623	61,750	860,452
当期末残高	100,004	21,360	212,265	333,630	204,866	6,126,627

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,324,221	1,166,472
減価償却費	84,368	58,698
のれん償却額	8,491	46,847
無形固定資産償却費	—	26,024
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22,296	13,022
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,423	13,115
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	207,000
受取利息及び受取配当金	△10,278	△10,458
支払利息	44,858	72,657
為替差損益(△は益)	1,413	△3,323
受取補償金	△20,230	△2,951
受取保険金	—	△179,788
訴訟和解金	—	60,000
固定資産売却損益(△は益)	△919	450
関係会社株式売却損益(△は益)	△171,525	—
売上債権の増減額(△は増加)	456,813	△803,443
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,229,945	△2,263,028
未収入金の増減額(△は増加)	57,561	△72,361
前渡金の増減額(△は増加)	116,087	44,445
仕入債務の増減額(△は減少)	△944,602	1,187,628
未払金の増減額(△は減少)	△91,192	△47,684
前受金の増減額(△は減少)	536	△13,051
未払又は未収消費税等の増減額	△144,896	△26,605
その他	46,639	△32,235
小計	△486,471	△558,569
利息及び配当金の受取額	10,404	10,747
利息の支払額	△45,431	△73,606
法人税等の支払額	△308,797	△667,599
補償金の受取額	864	2,951
保険金の受取額	—	208,755
訴訟和解金の支払額	—	△60,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△829,431	△1,137,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,316	△51,189
有形固定資産の売却による収入	919	3,992
無形固定資産の取得による支出	△12,285	△188
投資有価証券の取得による支出	△100,006	—
貸付金の回収による収入	555,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	427,282	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,001	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△813,524
差入保証金の差入による支出	—	△362
差入保証金の回収による収入	—	190,103
保険積立金の解約による収入	185,834	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,020,427	△671,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	290,000	1,517,366
長期借入れによる収入	2,470,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,686,521	△1,587,151
社債の償還による支出	△80,000	△80,000
リース債務の返済による支出	△19,578	△13,479
配当金の支払額	△148,206	△197,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	825,694	1,339,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,181	39,176

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,007,508	△430,135
現金及び現金同等物の期首残高	1,851,414	2,858,922
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	113,606
現金及び現金同等物の期末残高	2,858,922	2,542,393

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料・食品の製造用原料及び製品（ビタミン類、食品添加物、殺菌乳、野菜果実加工品、飲料製品等）、排水浄化プラント、大型シーリングファン、業務用ヒーター等の国内販売及び輸出入取引
製造販売事業	魚卵の輸入・加工販売並びに鮮凍魚介類の販売 漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,503,903	4,652,110	39,156,014	—	39,156,014
セグメント間の内部売上 高又は振替高	264,507	729,774	994,282	△994,282	—
計	34,768,410	5,381,885	40,150,296	△994,282	39,156,014
セグメント利益	1,005,592	220,645	1,226,237	△63,294	1,162,943
セグメント資産	13,617,773	3,224,984	16,842,757	△611,195	16,231,562
その他の項目					
減価償却費	40,977	43,390	84,368	—	84,368
のれんの償却額	—	8,491	8,491	—	8,491
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	55,976	52,766	108,742	—	108,742

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,306,539	6,602,673	41,909,213	—	41,909,213
セグメント間の内部売上 高又は振替高	61,447	496	61,944	△61,944	—
計	35,367,987	6,603,170	41,971,158	△61,944	41,909,213
セグメント利益	1,029,376	420,721	1,450,098	△81,120	1,368,977
セグメント資産	17,715,059	3,713,365	21,428,424	△951,173	20,477,251
その他の項目					
減価償却費	40,236	18,687	58,923	—	58,923
のれんの償却額	10,540	36,306	46,847	—	46,847
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	9,273	39,687	48,961	—	48,961

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△63,294	△81,120
合 計	△63,294	△81,120

セグメント資産 (単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△611,195	△951,173
合 計	△611,195	△951,173

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	合計
103,830	21,510	125,341

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,818,623	卸売事業

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	合計
165,953	173,045	338,999

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,369,964	卸売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	卸売事業	製造販売事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	8,491	—	8,491
当期末残高	—	33,965	—	33,965

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	卸売事業	製造販売事業	全社・消去	合計
当期償却額	10,540	36,306	—	46,847
当期末残高	—	191,393	—	191,393

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に関する注記

取得による企業結合

当社は2025年4月14日開催の取締役会において、NIITAKAYA U.S.A. INC.の発行済株式の85%を追加取得し、NIITAKAYA U.S.A. INC.の発行済株式の95%を所有することにより、子会社化することを決議いたしました。当該株式の取得は、2025年4月16日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 NIITAKAYA U.S.A. INC.

事業の内容 漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心に事業展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

NIITAKAYA U.S.A. INC.は米国において漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売を中心に事業を展開しております。当社グループは、海外展開の加速を今後の成長戦略の一つと位置付けており、米国の漬物市場で高いシェアをもつNIITAKAYA U.S.A. INC.を子会社化することで米国食品市場への本格的な進出が可能となり、当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式取得を行うことといたしました。

③ 企業結合日

2025年4月16日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 10%

企業結合日に追加取得した議決権比率 85%

取得後の議決権比率 95%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 連結計算書類に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に所有していた普通株式の企業結合日における時価 100,006千円

企業結合日に追加取得した普通株式の対価(現金)	850,055千円
取得原価	950,061千円
(4) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額	
該当事項はありません。	

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 59,000千円

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

① 発生したのれん

187,253千円

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(7) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	695,038千円
固定資産	181,651
資産合計	876,689
流動負債	297,885
固定負債	142,197
負債合計	440,082

(8) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の償却期間

① 主要な種類別の金額

顧客関連資産 523,355千円

② 主要な種類別の償却期間

顧客関連資産 15年間にわたる均等償却

(9) 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

みなし取得日を2025年4月1日としているため、当該影響額はございません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	570.24円	656.51円
1株当たり当期純利益金額	101.91円	88.13円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	915,103	793,923
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	915,103	793,923
期中平均株式数(株)	8,979,399	9,008,937

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984,762	1,114,198
受取手形	154,584	89,342
売掛金	5,667,953	6,379,907
商品及び製品	2,902,210	5,213,894
未着商品	1,137,019	848,198
原材料	74,542	44,204
前渡金	215,691	113,411
前払費用	44,193	49,709
関係会社短期貸付金	30,000	30,000
未収入金	147,036	225,176
為替予約	—	31,193
その他	66,828	119,792
貸倒引当金	△28,462	△41,485
流動資産合計	11,396,359	14,217,543
固定資産		
有形固定資産		
建物	46,209	46,209
減価償却累計額	△40,274	△41,219
建物(純額)	5,934	4,989
機械及び装置	22,578	22,578
減価償却累計額	△14,198	△17,005
機械及び装置(純額)	8,380	5,572
車両運搬具	19,467	19,467
減価償却累計額	△5,402	△10,086
車両運搬具(純額)	14,065	9,381
工具、器具及び備品	97,713	105,133
減価償却累計額	△55,342	△62,373
工具、器具及び備品(純額)	42,370	42,759
有形固定資産合計	70,751	62,703
無形固定資産		
ソフトウェア	43,360	31,333
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	44,519	32,492
投資その他の資産		
投資有価証券	409,126	308,900
関係会社株式	725,487	1,734,549
関係会社長期貸付金	30,000	—
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	140,300	142,901
繰延税金資産	20,683	94,205
その他	28,967	—
投資その他の資産合計	1,516,866	2,442,855
固定資産合計	1,632,137	2,538,051
資産合計	13,028,496	16,755,595

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,662,755	5,598,278
短期借入金	100,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	965,229	1,111,208
未払金	201,777	233,618
未払費用	13,124	14,669
未払法人税等	222,796	168,345
前受金	682	1,600
預り金	14,999	14,133
為替予約	14,564	—
賞与引当金	53,142	64,297
役員退職慰労引当金	—	207,000
その他	131,047	82,417
流動負債合計	6,380,118	9,495,568
固定負債		
長期借入金	1,934,138	2,052,939
固定負債合計	1,934,138	2,052,939
負債合計	8,314,256	11,548,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
その他資本剰余金	2,058	7,576
資本剰余金合計	290,446	295,963
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	4,114,882	4,555,678
利益剰余金合計	4,167,347	4,608,143
自己株式	△196,991	△181,772
株主資本合計	4,624,190	5,085,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100,154	100,004
繰延ヘッジ損益	△10,104	21,360
評価・換算差額等合計	90,049	121,365
純資産合計	4,714,240	5,207,087
負債純資産合計	13,028,496	16,755,595

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	33,780,284	34,151,383
売上原価		
商品期首棚卸高	2,330,401	2,902,210
当期商品仕入高	31,182,726	32,969,868
合計	33,513,128	35,872,078
商品期末棚卸高	2,902,210	5,213,894
商品売上原価	30,610,918	30,658,184
売上総利益	3,169,366	3,493,199
販売費及び一般管理費	2,173,501	2,545,366
営業利益	995,864	947,833
営業外収益		
受取利息	749	9,229
受取配当金	5,847	108,499
受取補償金	—	2,951
その他	1,337	720
営業外収益合計	7,934	121,401
営業外費用		
支払利息	20,030	41,499
為替差損	1,533	58,283
支払補償費	951	8,102
その他	1	662
営業外費用合計	22,516	108,547
経常利益	981,282	960,687
特別利益		
受取保険金	—	179,788
固定資産売却益	919	—
関係会社株式売却益	175,000	—
特別利益合計	175,919	179,788
特別損失		
役員退職慰労引当金繰入額	—	207,000
訴訟和解金	—	60,000
特別損失合計	—	267,000
税引前当期純利益	1,157,201	873,475
法人税、住民税及び事業税	345,363	322,703
法人税等調整額	15,110	△87,743
法人税等合計	360,473	234,959
当期純利益	796,728	638,516

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	363,387	288,387	—	288,387	2,465	50,000	3,467,637	3,520,102	△203,332
当期変動額									
剰余金の配当							△149,483	△149,483	
当期純利益							796,728	796,728	
自己株式の処分			2,058	2,058					6,341
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	2,058	2,058	—	—	647,244	647,244	6,341
当期末残高	363,387	288,387	2,058	290,446	2,465	50,000	4,114,882	4,167,347	△196,991

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,968,545	131,223	4,247	135,470	4,104,015
当期変動額					
剰余金の配当	△149,483				△149,483
当期純利益	796,728				796,728
自己株式の処分	8,400				8,400
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△31,068	△14,351	△45,420	△45,420
当期変動額合計	655,644	△31,068	△14,351	△45,420	610,224
当期末残高	4,624,190	100,154	△10,104	90,049	4,714,240

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	363,387	288,387	2,058	290,446	2,465	50,000	4,114,882	4,167,347	△196,991
当期変動額									
剰余金の配当							△197,720	△197,720	
当期純利益							638,516	638,516	
自己株式の処分			5,517	5,517					15,218
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	5,517	5,517	—	—	440,796	440,796	15,218
当期末残高	363,387	288,387	7,576	295,963	2,465	50,000	4,555,678	4,608,143	△181,772

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	4,624,190	100,154	△10,104	90,049	4,714,240
当期変動額					
剰余金の配当	△197,720				△197,720
当期純利益	638,516				638,516
自己株式の処分	20,736				20,736
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△150	31,465	31,315	31,315
当期変動額合計	461,532	△150	31,465	31,315	492,847
当期末残高	5,085,722	100,004	21,360	121,365	5,207,087